

・19/9/25 名古屋市議会経済水道委員会 午後 名古屋城部分
(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

江上博之（共産・中川区）：名古屋城の関係で弁護士のお話を聞きました。

私自身、基本協定書に期限があるかつ完成から 9 年で石垣とその話そのものですね、揺らいでいる以上はもう一端見直すべきだと、そうしないとそれは相手がある話ですからどうなるかは別にしても損害賠償の対象になってくるとそういうふうに思っております。

そういう点でお聞きをしたんですが、いって考えてみればですね弁護士さんっていうのは、訴訟があつて初めて考えられるわけで訴訟があるってことが、まずありそうでない今回の事件でいいますとね、だいぶ鷹揚に構えて答弁をされたのかなという気がいたします。

ただ名古屋市側がそれだけではなくて、やっぱり技術提案書にですね、最初に復元をしてその後石垣というふうになっているとその順序について守ることは必要だと言ってみるそういう点ですね、やはり歯止めが僕必要だと思ってるんです、自らからね。

だから期限がここまで延びている、これ期限がどこまで延びるか今日の議論でもわからない。

それから石垣が応急措置応急措置と言われたけれども本当の応急措置なのかどうかは保全修復のための調査をやってみないとわからない。

そういう点で私自身はもう基本協定書すぐ廃棄して白紙に戻しあるべきだと思っておりますけど。皆さんの側でもこれは基本協定書直ぶらざるを得ないとそういう時期についてどういう段階であれば考えざるを得ないと考えてみるんでしょうか。

蜂矢主幹：これまでも様々なこの事業の変更に伴いまして弁護士の見解を求めてまいりました。先ほどから御答弁させていただいてますように、まだ石垣部会との関係もこれから再構築していかなければいけない。発掘調査もどの程度の期間を要するのかわからないという状況でございます。

したがいましてこれから様々な協議等進めていって一定の目途がたちましたらその時点で弁護士の方のまた見解も求めていきたいというふうに考えております。

江上博之（共産・中川区）：やってみなければわからないという言い方をされますけれども、私自身はね、名古屋市の信用問題ですよ。

いろんな工事に対する条件、だいたい技術提案を交渉方式っていうのも短期にやると、そのためには業者側のいろんなものを使ってやるとその期間そのものですね、どんどん延びると今日話を聞いていると私も思わなかった以上に天守閣の天守台以外のところでもですね、空隙調査をしないといけないとか、本来そうあるべきだろうとは思いますがそれでもそれだけに期限を決めていろいろやろうとしたことがね。この 3 年間 4 年間いろんな影響が出てきたと、改めてじっくりとですね、特別史跡でありますから、石垣調査をしつか

りするとそういう点では天守閣の整備推進はやめとくということを申し上げておきたいと思います。改めて基本協定書についても見直しを求めておきたいと思います。